

薪窯の世界を見てみよう!!



炎の流木を考えながら  
----->  
うっちたちを窯の中へ!!



カーボレート  
箸置きなどの小物  
土錆など...  
たくさん入ります



さぁ火入れ!!  
無事仕上がりするように  
ずと付き、セリで窯と  
向き合います



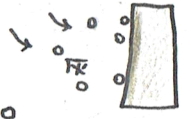
薪の入れちの重要!!  
炎の流木を見ながら  
まんまん炎が回るように  
投げ入れます



自然採曲、てなに?

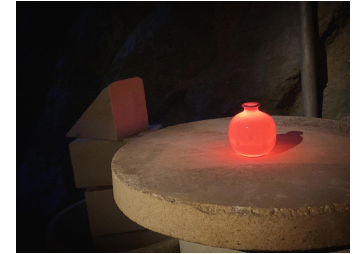
木枝から出る灰が炎の流れにのって  
うっちに付き灰と土が高温の中で  
作用してガラス化する。

灰の当たり方は周りのうっちとの  
位置でも変化するので  
ひとつとして同じものは  
できないんです。



色貝を出してみよう!!

窯の中にあるうっちを取り出して  
釉薬が溶けているか確認!!  
そろそろ終盤!!



約17時間の窯焚きも終了  
あとはゆっくり窯を冷ます  
これも大切な時間!!

窯出しは毎回  
ちくちく... ドキドキ...

薪2台分の  
薪を準備 他にも  
窯の中や板の掃除...



炎が焚口から奥のカビに  
当たり戻ってくるので  
しつこい窯なんです



なぜ今の時代大変な薪窯?

準備をはじめ焚き始めると離れられない。  
大変なことは多いですが昔はすべて人の手で  
工夫をしてうっちを生み出してきました。

私たちも原点に戻り  
身近な自然と共に  
作り上げるうっちを  
生みだし学び続け  
たからだからです。



この窯も1人の職人さんの  
手仕事。人の知恵と力は  
すごい!!  
伝える人と受けとる人。  
すべて繋がってたくさんの  
感動と学びが  
生まれてきます。



うっちの表情  
想像して  
楽しんでください



炎が当たっている  
ところ  
色の変化に注目

